

## 2013年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージをおくりました。社長メッセージのあらまきは以下のとおりです。

### **「明治安田新発展プログラム」は折り返し点を過ぎ、順調に進捗**

- ・ 2012年の日本経済は、夏場以降の輸出環境の悪化に加え、個人消費、設備投資にも陰りがみられ、金融・為替市場においても不安定な状況が続いた年であった。
- ・ 当社は、2011年度から「明治安田新発展プログラム」をスタートさせ、「コンプライアンスの徹底を含めたCSR経営の推進」と「お客さま満足度向上の徹底追求」を基本に、さまざまな取組みを進めてきた。
- ・ 営業職員チャンネルでは“アフターサービス”の充実に加え、社会保障制度のご説明をはじめ、ご加入いただく前のコンサルティング活動“ビフォアサービス”を強化し、さらなるお客さま満足度の向上を実現した。
- ・ 死亡保障、医療保障、年金に続く「第4の柱」と位置づけている介護保障分野においては、昨年9月に新商品「介護のささえ」を発売し、販売件数は好調な滑り出しを見せている。昨年3月には介護付有料老人ホーム「サンビナス立川」を買収・子会社化、また、介護総合情報ポータルサイト「MY介護の広場」の機能拡充など順調に進捗している。

### **今年の抱負は3つの「S」。そして、来年1月で丸10年**

- ・ 今年の抱負をアルファベット一文字で表すと「Sustainability（持続可能性）」、「Success（成功）」、「Satisfaction（満足）」の頭文字の「S」。
- ・ 新会社が誕生して、来年1月で丸10年の節目を迎える。これを一つの区切りとして、環境変化に対応しながら、さらに成長していくための「Sustainability（持続可能性）」を追求していく年にしたい。
- ・ 迎えた新年は、「明治安田新発展プログラム」の総仕上げの大切な一年。本プログラムの柱である「国内生命保険事業における安定的成長力の確保」、「成長分野への積極投資」、「リスク管理の高度化と資本・財務基盤の強化」の完遂による「Success（成功）」を通じて、次の中期経営計画につなげたい。
- ・ お客さまおよび従業員の「Satisfaction（満足）」を追求していくことが会社の「Sustainability（持続可能性）」と「Success（成功）」につながる。
- ・ これからも、「お客さまを大切にできる会社」として、お客さまに確かな安心と豊かさをお届けできるよう、全役職員が一丸となって不断の努力を続けていこう。